

# 「第5回ライブ・エンターテインメント EXPO」

神谷 直亮

リード エグジビション ジャパンが主催した「第5回ライブ・エンターテインメント EXPO」「第1回スポーツビジネス産業展」「第5回イベント総合 EXPO」「第1回地方創生 EXPO」が、2月21日から23日まで幕張メッセで開催された。主催者の発表によれば、今回の出展者は630社を数え、総参加者は28,303人に達したという。本稿では、スカパー・ブロードキャスティング、映像センター、ブリッジリンク、エルテック、シネ・フォーカス、ABSEN オプトエレクトロニクス、DESAY インテリジェント・テクノロジーなどが出展して盛り上がった「第5回ライブ・エンターテインメント EXPO」を中心にレポートする。

初出展を飾ったスカパー・ブロードキャスティングは、巨大な中継車「SR-1」を会場に持ち込み、ブースの代わりにしていた。この意表を突く戦略と珍しい4K HDR テレビの大型中継車が見られるということで、大勢の来場者が押しかけて関係者はうれしい悲鳴をあげる有様であった。「SR-1」の特色は、システム信号を「4K HDR S-Log-3/BT.2020」に統一し、各種変換機能を有するマルチフォーマットコンバーターで制作用途に応じた出力を実現している点にある。具体的には、4K/HDの解像度変換、HDR規格に合わせた3種のガンマ変換、BT.709/BT.2020の色域変換などができる。



写真1 スカパー・ブロードキャスティングは、4K HDR テレビ制作用の大型中継車を持ち込み来場者の意表を突いた。

久しぶりに車内に入れてもらったが、広々とした拡張可動式制作空間、マルチビューワによるフレキシブルな画面レイアウト、QC (Quality Check) 卓を設置しての徹底した品質管理など非常によくできている。

映像センターは、イギリスのKinesys社が開発したビジュアルモーションコントロールシステムを実演して来場者の注目の的になった。ビッグアーティストのライブで採用されてきた「巨大映像が自在に、空間で躍動する」システムで、日本では2017年紅白歌合戦の舞台でその実力を証明している。ブースの担当者によれば、トローリー、360度ローテーター、ロードスター、リフトキット、トラストなどが組み合わされており、Kinesys専用のソフトとコンソールでコントロールしているという。

映像センターは、この他に薄型・軽量6mmピッチのLEDシステム「GL6」や同9mmピッチの「GL9」などを披露した。前者は、低調域まで発色が豊かな表現を可能にし、後者は、カーボンフレームを採用しており大画面ながらも軽量化ができてるのが特色である。

ブリッジリンクは、球体型LEDディスプレイ「Sphere」と横8m x 高さ4mの大画面LEDディスプレイ「BL-3.0」を目玉にして出展した。同社が誇る「Sphere」については、「前は、直径1.22m、重量135kgであったが、今回は、一回り大き



写真2 映像センターは、Kinesys社が開発したビジュアルモーションコントロールシステムによる舞台演出デモを行って来場者の注目の的になった。

い直径1.8m、重量320kgのものを紹介している。ドットピッチ4.8mmは変わらない」と説明していた。特色として挙げられるのは、単なるディスプレイではなく、オーディオ機能を持たせ、かつ手で球体の回転操作を行えるようにセンサーを搭載している。

「BL-3.0」の大画面は、真ん中でL字型に曲がっているが、再生された高精細映像は、全体的に見て違和感がなかった。メーカーとドットピッチを聞いてみたら「中国のユニルミン社製で、ドットピッチは3.9mm」との回答であった。

エルテックは、「超軽量、超薄型、全天候」をキーワードに掲げて「i-Max Ultra Light 3W、同4W、同5W、同6W」の売込みに余念がなかった。湾曲した壁面にも、貼ったり、剥がしたりできるシート構造に仕上げられており、デジタルサイネージに最適という。ブースの説明員は、「柔軟性、設置性に優れた世界初の商品」と自慢げに語っていた。

エルテックはこの他に、透過型ディスプレイ「i-Max OLED LO55」と中国レイヤード社製の1.6mmピッチの4K高精細ディスプレイ「ACTIV-1.6」を紹介した。

シネ・フォーカスは、「見えないものを、可視化する」というテーマで、意表を突く3Dホログラムのプロジェクション映像を前面に押し出して出展した。特設シアター内に、6m x 4mのステージが設営され、英国のMUSION 3D社と独占契約を締結して実現した3Dホログラム技術を駆使して女性パフォーマーと映像が絡み合う幻想的な世界を創り上げてみせた。

さらに、ステージでの演出に加えて、ビジネスへの応用にも触れ、シネ・フォーカスとCADOの両社が開発したという空気洗浄機の目に見えない空気を3Dホログラムで可視化して見せる技を紹介した。

ABSEN オプトエレクトロニクスは、中国を代表するLEDスクリーンソリューション



写真3 シネ・フォーカスは、特設シアターで3Dホログラムのプロジェクションデモを実施して来場者を魅了した。



写真4 DESAY インテリジェント・テクノロジーは、12種のLEDディスプレイを紹介してその実力を誇示した。



写真5 ワン・ステップ社は、映像、音、チェアを連動させる9D VRのデモで人気を博した。

ョンを提供する事業者である。すでに日本支社、ABSEN Japan を設立して屋内・屋外広告、舞台演出、スタジアムのボードなどを売り込んでいる。今回、同社のブースでは、2m × 4m の高コントラストと高輝度を誇るLEDビジョンが紹介された。画像ピッチが1.95mmの「COBALT PL1.9」と呼ばれる最高の製品とのことであった。

ブースの担当者は、「このPLシリーズは、1.95mm以外に2.5mm、2.9mm、3.9mmなど8種類を用意していると語っていた。

同じく中国から出展した**DESAY インテリジェント・テクノロジー**は、ハイエンドのXシリーズからクラシックなPシリーズまで12種のLEDディスプレイを紹介してその実力を誇示した。ブースの担当者は、Ferrari、BMW、コカコーラ、NBA、F1グランプリなどの顧客名やイベント名を挙げて実績のPRに余念がなかった。

上述した7社以外に今回目を引いたのは、ワン・ステップ、NTTドコモ、リコー、KOA、エスシーの5社だ。

**ワン・ステップ**は、バーチャルとリアルの壁を打ち砕くという旗印を掲げて「9D VR」のデモを行っていた。リアリティにあふれる映像と、迫りくる音、これらに連動するチェアの振動と動きで9Dと称していた。卵型のチェアもVRゴーグルも中国のムービーパワー社が開発したシステムとのことであった。

**NTTドコモ**は、「みんなのVR」「PANOCLOUD PRO」と名付けた2種の「カンタンVRサービス」を売り込んでいた。

VRコンテンツの撮影、編集、配信など全工程の代行作業を月額料金で行うという。料金を聞いてみたら「みんなのVR」は12万円/月、「PANOCLOUD PRO」は2万5千円/月がベースとのことであった。ブースでは、苗場のゲレンデでスキーの体験ができるVRのデモも行われており希望者が列を作っていた。

**リコー**は、デジタルメッセージボードと香りサイネージを目玉にして出展した。「みんなのメッセージをよりスマートに！」をキーワードに掲げた「リコーデジタルメッセージボード」は、写真の撮影、メッセージの書き込み、プリントアウトができる。ブースでは、このスマートボードの採用事例として南海放送を挙げ、チャリティー会場企画として撮影した映像とボードに書き込んだメッセージを印刷して、来場者に記念カードとして渡したという。

香りサイネージは、まだ参考出展とのことであったが、配信装置、表示装置、投影コンテンツをセットで提供することを考えている。香りの種類を聞いてみたら「100種前後を用意する」と意気込んでいた。

**KOA**は、「風の表情を捉えと、新しい価値が生まれる」と主張して、風の見える化ソリューションの

デモを行って興味を引いた。風センサーを利用して、風速を同時に多地点で計測するWindgraphyというKOA独自の技術を使っている。何ができるかについては、「センシング・エンターテインメント、アミューズメント、アートなどいろいろ」との回答であった。

AV & Security System を得意とする**エスシー**は、3種の4Kネットワークカメラと4K 360度全方位ドーム型ネットワークカメラを出展した。3種の内訳は、ボックス型、ドーム型、屋内外兼用一体型IRネットワークカメラである。360度カメラには、中国製の魚眼レンズが搭載されていた。

**Naokira Kamiya**  
衛星システム総研 代表  
メディア・ジャーナリスト



**緊急報道  
ハイビジョン映像伝送  
Ku-band/X-band**

**CCTスーツケース 90cmφ型 2タイプ有り  
120cmφ型**

**衛星通信用超小型可搬アンテナ**

Suitcase CCT Satellite Communications Terminal



5分で運用開始



IATA対応収納ケース  
その他にも1ケース収納型から3ケース分割型など各種ケースあり

**エーティコミュニケーションズ株式会社**

<http://www.bizset.jp> TEL : 03-5772-9125

